

## すべての子どもがいきいきと学校生活を送るために

### 「困った子」ではなく「困っている子」

落ち着きがない、学習意欲がない、規則を守らない、人の話を最後まで聞けないなどにより「困った子」と見られることが多く、お悩みになることはありませんか？ 今までは、これらは本人の問題とされたり、親のしつけが悪いとされたりすることが多くありました。



親の育て方が悪いって言われると、つらいよね。

しかし、本当は学校での生活や学習にさまざまな困難（＝やりにくさ）を抱え、何らかの教育的支援を必要としている「困っている子」なのだ、ということが最近わかってきました。

こだわりが強くて新しい環境を受け入れにくい。

努力が足りないと見られてしまう。

いつもと違うのはどうも苦手。よく分からなくなっちゃう。

一生懸命勉強してるのに、覚えられない。字を書きたい読んだりは苦

授業中、じっとしてるのはつらいんだ。思わず立っちゃって怒られるん

すぐケガをしたい、ガラスを割ったり。注意してるんだけどなあ。

落ち着きがない子といつも言われる。

何度注意されても同じことを繰り返してしまう。



このようなお子さんは、支援を求めて様々なサインを出しています。しかし、そのサインを見過ごしてしまったために、適切な対応が遅れてしまうこともあります。場合によっては、学年が上がるにつれて極端な学業不振や不登校、反社会的な行動等の二次的な障害になる例も少なくありません。

本校では、このようなお子さんのために校内委員会を設置し、区とも連携しながら適切に支援できるように努めています。「おやっ？」「どうしてかな？」とお子さんのサインにお気づきになったら、是非、学校へご相談ください。お子さんがいきいきと学校生活が送れるよう、一緒に協力していきましょう。

特別支援教育コーディネーター：

(直通) 03-3420-0621